【日刊・月曜休刊】昭和25年(1950) 8月3日（木曜日）第63号　磐城毎日新聞　可認物便郵種三第日6月7年25和昭　(一)

磐城毎日

衛兵興南町社　大和田倫
長　孝
社　所　新聞　平縣福島縣　日毎　磐城　印刷　藤遠
發行所式社　株會　編集　發行人
電話（平）一一二番

九ボ、八ボの鑄造が終りました
寫眞版は三時間で製調します
切に御注文下さい
平市仲町（電話七二九番）
株式會社　大和田印刷所

扶助者増える傾向

引揚者生活力旺盛で援後は返上

縣社會課青木主事外一名は生活保護實施に關する事務指導並に監査のため二日朝來平、當日は平市三日石城地方事務所、四日湯本町、五日岩崎村に實施する豫定であるが最近に於ける生活保護法の適要を受ける要扶助者に就て青木主事は次の如く語つた

經濟界の不振は要扶助者益々增加の傾向にある只特殊な点は外地引揚者の原生振りで昭和二十一年度頃の要扶助者の筆頭は外地引揚者で占めて居たが現在では各地共に引揚者が殆んど見當らないて午前三時頃から押し込んだ觀衆は、午前八時に超滿これは外地に居られた人々は生活力旺盛で自力更生の熱に燃えている證據であらうその点は內地のみの生活をして要扶助者に轉落して行く人々の習うべき点であると思う、尙最近自由勞働者でアプレに對し生活援助を要求するものが多くなつて來たが生活保護法は仕事のアプレに對して適用するものではなく生活困窮者に適用されるものであるからこの點充分反省して貰いたいと思う

農作物病虫害撲滅 防除團組織

農作物の生産增强と農業經營の安定確保を計るため平市役所では三十一日農作物病虫害防除組織活動協議會を開き既報の如く平窪、飯野、神谷へ夫々配置した、動力ふん霧機の使用管理規定及農作物防除組織と活動方法について防除團を組織その運營の圓滑を圖つて防除對策委員會を構成した、防除團の組織は平市長が團長を兼任し副團長は荒川（平）山野邊（飯野）平田（神谷）の各共濟組合長に決定しました

稻作生育等

農事關係打合會

石城地方事務所では五日午前十時から農業關係事務打合會を開き水陸稻作付生育狀況調査、種子確保對策二十五年度產麥、菜種供出等について關係者出席の上協議する

消組石城支部總會

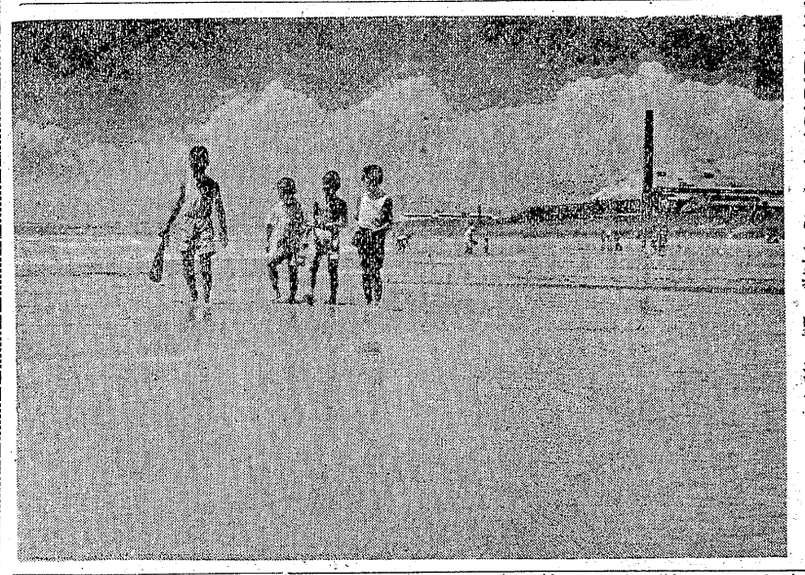
消費組合石城支部では八月一日小名濱町、漁業協同組合樓上に於て結成、初かぶ、最初一杯に息を吸いは他人の助けをかりてうかぶのが例である、仰がに移つた時一時は沈みそうになるものである、しばらくしんぼうすれば次第にうき上る、なほうき身は泳ぎの基礎をなすものであり、水馴れの稿で說示したやうに初心者の通る過程である

十一、飛込（とびこみ）

こゝで云う飛込みは競技として行はれているものでなく、古式泳法から採用し實用的なものとして認めていう動を停止してうかぶ、最初体を伸ばし、兩足を伸ばし

小名濱通信

小名濱町消防團の資金造成計畫に依つて東京大角力照國一行を聘し、一日午前五時のやぐら大鼓と共に打ち出した興行は前日まで降雨續きの爲めに消防幹部は頭痛鉢卷き、待望の日は天の惠が日本晴の角力日和にいて小名濱町消防團の資金造成計畫に依つて東京大角力照國一行を聘し、一日午前五時のやぐら大鼓と共に打ち出した興行は前日まで降雨續きの爲めに消防幹部は頭痛鉢卷き、待望の日は天の惠が日本晴の角力日和にいて



河童等は海へゆく雨晴る頃の小名濱海水浴場へ、日本水素工場を望む濱べにて

どうしたら泳げるか

日本水泳連盟普及委員　藤森福

(16)

うかんでから後は鼻より靜かに少しづゝ呼吸する

2、練習法　凡そうき身は空氣の入つた肺部とその前後にある頭及び手足の重みの平均がとれた時にうくものである、稍々深く息を吸ひ脚を使ひながら手をのばして仰がし、次第に脚の運

1、方法

水面に仰がし、兩手を頭上に眞直ぐに揃えて伸ばし、頭部をなるべく沈め、胸を强いて張らすに擴げる如くし、下腹部に力を入れ、体の平衡をとりつゝ水面にう

十、浮身（うきみ）

手足を動かさず水面に浮かぶのが浮身である

1、方法

水面に眞直ぐに立ち、目は遙か前方を見る、次に膝を輕く屈げて腰を下げたまゝ輕く胸を張り背を反らし飛込むそ所を見定める、次に足指先身になつて淺くうき出す、頭部が水面に出たならば眼を開いて前方を見る、適度の体の傾斜は踏切りの時期に体が前方に傾いた時急に足首、膝及び腰を强くのばして遠くえ踏み切る、この体時体は反り氣味に眞直ぐの部え出す時期等による

2、練習法

空氣の入つた肺部とその前後にある頭及び手足の重みの平均がとれた時にうくものである、稍々深く息を吸ひ脚を使ひながら手をのばして仰がし、次第に脚の運

十一、飛込（とびこみ）

こゝで云う飛込みは競技として行はれているものでなく、古式泳法から採用し實用的なものとして認めていう動を停止してうかぶ、最初体を伸ばし、兩足を伸ばし

漁業を始め各方面に亘つて公平適切な手腕を發揮地方金融界に貢獻された勞は關係方面から等しく認められてゐたもので榮轉

密造酒對策の協議

會と催し

△四日午前十時より石城農業會館において郡下農協、農協青年組織の確立及び活動方針について研究討議する

△五日午前十時より石城農業會館において農協組合長會議を開き、飼料取扱ひ、砂糖の登錄の更新等について協議する

△四日午前十時より石城農業會館において郡下農協共濟組合職員會議を開く

△五日午前十時より石城農業會館において農協組合長會議を開き、鷲繭指導について打ち合せを行う

學校の催し

磐高化學部では四日、小名濱海岸において海濱化學ので渡橋式を擧行する

石城郡大野、大浦兩村の境界の仁井田川に架かる磯田橋は去る四月から架換え工事中の處このほど完成したので七日兩村關係者の發起

磐女生物班では十九日より

銀勸 平支店長本店へ

日本勸業銀行平支店長嘉悅龍雄氏は二日付きで本店考査役として榮轉することになつた

氏は平支店在職四年商工

磯田橋完成

【株式市況】

磐城登券

二日現在

昨日急激に買つた反動で今日は後續材料の續かないこともあるが氣迷となり高低區々であつた、出來高も午後に急減して概算二七〇万

鋼管	四	呉羽化	三
東洋紡	一九六	苫小牧	一四〇
鐘紡	一四六	十條紙	一四六
日清紡	二七	本州紙	一五六
呉羽紡	一三	日セメ	八二
日東紡	九〇	磐城セ	一七五
片倉	六五	小野田	一三〇
帝人	一四五	不動新	二四〇
東洋レ	一三〇	陽和不	一五六
新光レ	三三	開東不	一五六
山パル	一七九	三越	三七〇
東海上	四五五	日麥酒	二九〇
新郵船	一七六	朝麥酒	二九五
三井船	一八〇	キリン	四七八
日發	四〇	寶酒造	一三〇
三井山	四三	野田醬	三八
日石	九一	豊年油	二九
三井造	一五六	高壓	五〇
日立	一五六	日產化	一五六
東北パ	一二四	日活	一二六

人事一束

一日飯坂に開かれた東北無線協議會に出席の爲め管屋小名濱水產試驗場長は出張とは云え惜まれてゐる尙早くめざめても有效なチャンスが來るまでは吾輩の動作は林の如く靜かである有名な猫足を目指す據點まで悠々と運ぶ、幸ひ吾輩は虎猫である、暗い台所に連子窓から射す電氣の光りが夜と交錯して縞目模樣を描いてゐる、猫から云つて鼠の如き鈍感な動物には吾輩の居る事に氣の付く道理はない、格恰の保護急に完全擬裝されてゐる

流しの樋を傳ふ鼠はかゝる恐しい敵が眼前寸尺の所に虎視たんたんとひたすらに機會を狙つてゐるとも知らず、とうとう流しの緣に、その可愛いゝ足をあげた鼠の眼は出目錦のやうに喜び出してゐる、陰險な光りがきらりと動く、生れて六ケ月の初陣である吾輩は、ぶるつと武者震いした、まつたくてきに向つて攻撃を始める心境といふものは複雜なものである、天與の膂力が自信以上の本能的役割を果すのであるが、やつぱり震へる

台所一帶を隅なく觀察を終つた、てき陣營はいま完全に眠つてゐる、今だといふ決心がついたのであらう、流しの棚を通つて吾輩の目の前にある七輪の台に上つた、七輪の上には奥さんが仕舞ひ忘れた魚のに物がある猫でも鼠でもさうである

吾輩は虎である

（十）　吉田昌廣

平市南町（小松屋旅館隣）電478
鈴木歯科醫院
鈴木與一郎

暑中御伺ひ申上げます
平市下平窪大字六角　電話八二四番
平市農業協同組合
組合長　江尻忠平
常務　鈴木政一
參事　鈴木甲子男
平市大字南白土　電話八五七・七九二番
飯野農業協同組合
組合長　山野邊鶴次郎
參事　小野善秋
平市神谷　電話八六六番
神谷農業協同組合
組合長　平田八十治
參事　渡邊正三

七夕紙
差上げます
當店で五十圓以上御買上の皆様に上質七夕紙（十圓分）を差上げます
期間八月二十日迄
サンキュー
佐々木商店
平市鍛冶町　電話五〇三番

NEON ネオン
屋外看板と屋内照明に
ネオンサインを！
價格が少しは高くとも電氣料の經濟な故障の無い高級品とネオン工事專門の技術者を御選び下さい御報せ次第技術者を遣し設計や工事の御相談に應じます
不二ネオン常磐特約店
瀧川電氣工業所
平市仲町　電話五八三番

平市縣社下
皮膚科
性病科
內科
矢吹醫院
電話一一九三・一二九五番

昭和25年（1950）8月3日（木曜日）　第63号　磐城毎日新聞　定価1ケ月50円　一部賣二円　第三種郵便物認可　（二）

芭蕉の句

「尼子の橋や稲の上」

近代的な鐵橋に變る

惜まれる名所、八百年の歴史

「みちのくの尼子の橋や稲の上」の芭蕉の句で知られ、古くから傳説に富み句や歌の題材ともなり、近代では料亭やまんじゆう、羊かん等の名稱にまで利用された平名所の一つである、尼子橋（通稱長橋）は所を變更して近代的の鐵橋に架け替えられ様相を一變し現尼子橋は廢橋の運命に置かれる事となり、舊跡保存の見地からと小島部落への交通の点から其存續方を要望する聲が高まつている

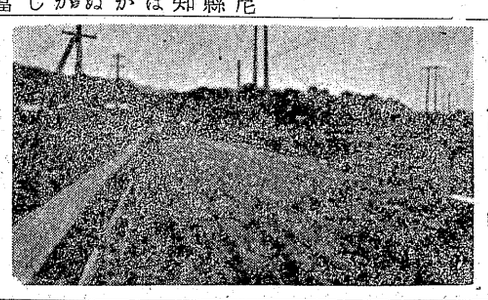
新尼子橋 千二百万円で九月竣工

新尼子橋は内郷町御厩より平市大塚土木課長は語る新橋梁が竣工すれば現尼子橋を廢橋することは縣當局としては當然かも知れないが、平市としては小島地區との交通の點からも考いなければならぬ問題で、かつて平神橋が出來た際に鎌田橋を殘した例もあるので内郷町當局とも協議の上何等かの形で殘る事になるのではないかと思う

小島、加藤氏談

平市との合併を熱望し猛運動を續けている内郷町小島部落の平市合併促進委員會加藤委員長は尼子橋の廢橋問題につき次の如く語る

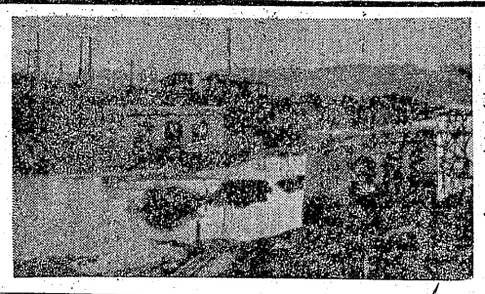
小島部落としてもそう云う事になる事を豫想していたので合併促進の理由の一つにもなつているわけである、あの橋が全然無くなつては小島部落としては重大問題であるから現形のまゝ殘す事は期待しないがせめてリヤカーを引いて通れるだけの橋は是非存續して頂きたいと思います



是非保存を

鈴木史談會員談

鄉土史の研究家として知られている磐城史談會員、磐女高教官鈴木光四郎氏語る八百年の歴史と傳説に富む由緒深い現尼子橋を失う事は惜みても餘りあり誠に遺憾に堪えない、時代の流れで致し方ないとしても一部だけでも保存するか或は繪畫にして記念に殘すか國家なり平市當局で對策を講じて欲しいと思います



は由緒深い現尼子橋で土木監督所では近く或る程度の補修工事を實施するが、今後の維持管理には多額の費用を要するのみならず新橋梁が竣工すれば存在價値が尠なくなるので廢橋としてかけ替えは勿論補修等も一切行はない、只直ちに撤去する様な事はしないが、荒れるに任せる方針であると語つている

保存方を考慮

大塚市土木課長談

現尼子橋の廢橋問題につき

失業保險の詐欺

所長外十九名告發

既報＝下瀧炭鑛休山にからむ失業保險詐取事件は縣失業保險徴集課の手でしん重な調査を進めていたが三十一日同課岡部課長らが來平、三日間に亘り職安内に延八十人におよぶ關係者を召喚最後的調査を行つていたが、違反者五十二名中大河内之所長外十九名を近く正式に告發する

岡部課長談　今度の事件については炭鑛の經營面からは郡山市にも出張所を設けてゐる、今後は事業所の監査を嚴にして未前に防いで行きたい

街頭宣傳社

本年五月須賀川町に旗上げした東北街頭宣傳株式會社は郡山市にも出張所を設けてゐる、今後は事業所の監査を嚴にして未前に防いで行きたい

街頭宣傳社

二日營業始む